

第14回対話の場について



- 日時：2023年6月8日（木）18：30～
- 場所：漁村センター
- 出席者：委員15名、ファシリテーター7名、神恵内村役場、資源エネルギー庁、北海道経済産業局、北海道庁、NUMO

<対話のテーマ>

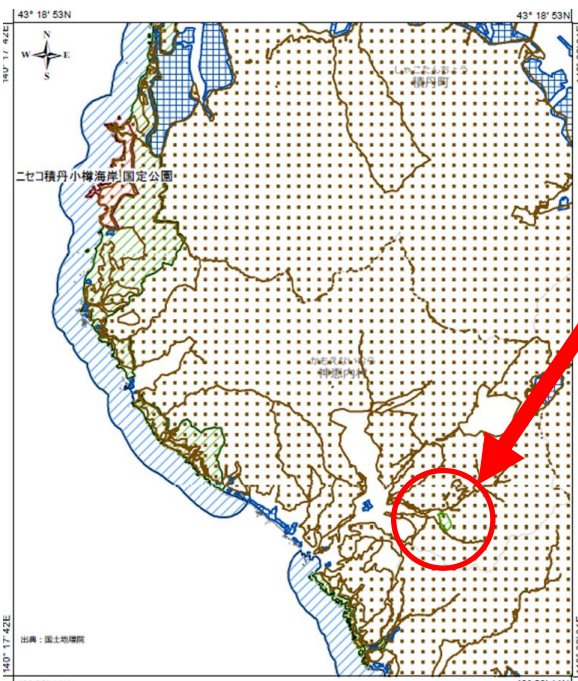
- ◇ 運営委員会の開催結果報告&運営委員の選出
- ◇ 文献調査段階における経済社会的観点(土地利用制限)について
- ◇ 神恵内村のまちおこしについて ※「放射線の基礎知識」から変更

運営委員会の開催結果報告&運営委員の選出

- 対話の場の委員2名の変更について報告しました。
- 対話の場の運営委員1名を選出しました。

文献調査段階における経済社会的観点(土地利用制限)について

- NUMOから文献調査段階における経済社会的観点(土地利用制限)について報告しました。



神恵内村内には様々な土地の利用規制がかかっていますが、このうち土地利用が原則許可されないのは「神恵内トドマツ遺伝資源希少個体群保護林」の設定地域のみであることがわかりました。

※神恵内村には「神恵内トドマツ遺伝資源希少個体群保護林」の他に国有林、民有林、自然公園地域が存在します。



Q.手続きには「届け出」と「認可」があるが、「届け出」の場合は提出すれば、そのまま受理されるものなのか？審査などはないのか。

- 届け出については、事業者等が行いたい事業を書面にて知事や大臣に申請すれば基本的に土地の利用が可能となります。許可は届け出よりも審査が厳しいです。

Q.神恵内トドマツ遺伝資源希少個体群保護林はどれくらい希少なのか？

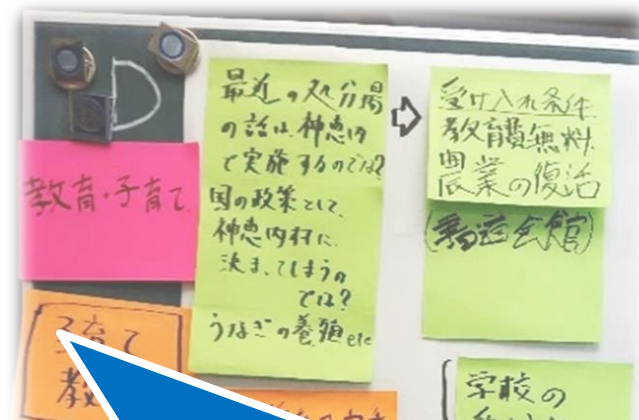
- 北海道に同じような希少保護林は168ヶ所存在しています。

神恵内村のまちおこしについて

- 「放射線の基礎知識」を行う予定でしたが、講師の方のご都合で次回以降に延期しました。
- 今回は、以前のテーマであった「まちおこし」の続きとして、子育て・教育、漁業、観光、公共交通の4グループに分かれて話し合いを行いました。

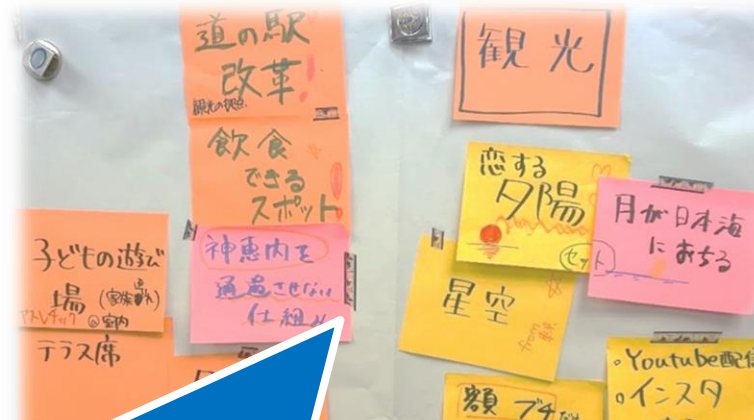
対話の場で紹介されたテーブルワークの内容

子育て・教育グループ



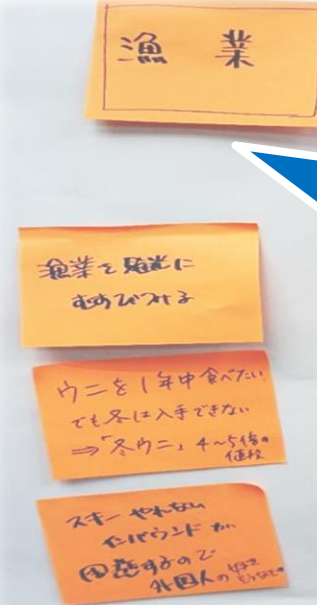
- 村に働く場が少ないため大学の誘致や実習の受け入れを実施しても村に人が残らないのではないか
- 子育て教育の次に、企業の誘致をして働く環境を作る必要がある

観光グループ



- 神恵内村を通過させない仕組みが必要
- 観光拠点の「道の駅」を改革して飲食の提供や子供が遊ぶ場所を作りたい！
- 日本海に夕日や月が沈む景色が見れるので観光スポットにできないか

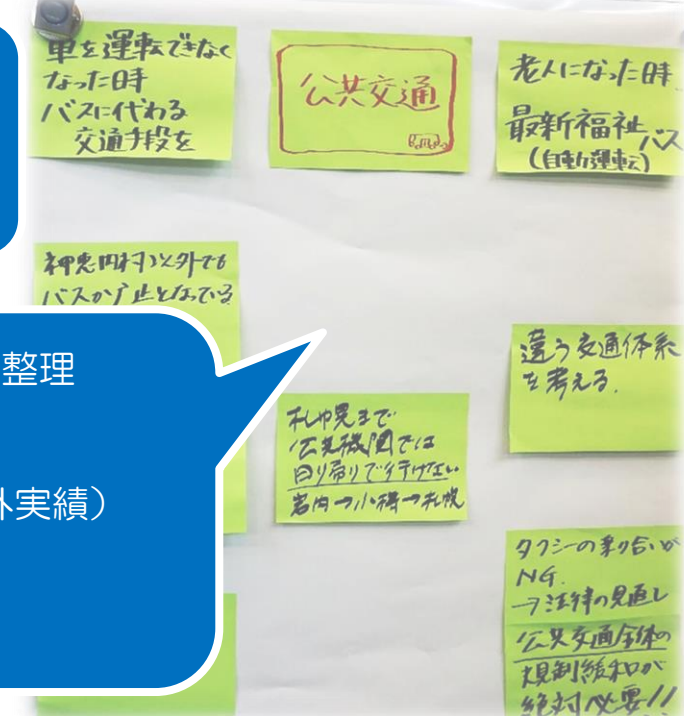
漁業グループ



- 色々な養殖施設を一か所にまとめて、見学できる観光施設にできないか

- 公共交通を[行く][来てもらう]で整理
- [行く]
- たつ姫号の活用！
- アプリで近所の車を配車（海外実績）
- 近所で声がけして相乗り
- [来てもらう]
- 移動販売車、往診

公共交通グループ



対話の場における配付資料や映像は、NUMOホームページでご覧いただけます。

NUMO <https://www.numo.or.jp/>



当日の資料などについては、NUMOのホームページのほか、神恵内交流センターにおいても配布しております。より詳しい内容にご関心のある方は、以下の問い合わせ先までお気軽にご連絡ください。（お問合せ先：0135-67-7711）

神恵内村対話の場 委員名簿（第14回以降）

（あいうえお順）

	氏名	所属等
1	五十嵐 浩二	神恵内村社会福祉協議会
2	池本 美紀	魅力創造研究会
3	井田 和夫	公募
4	稲船 義則	公募
5	岡田 順司	神恵内村商工会
6	木下 史恵	神恵内村商工会
7	金田一 晃弘	古宇郡漁業協同組合
8	佐藤 義孝	赤石地区
9	柴崎 政弘	珊瑚内地区
10	鈴木 徳夫	公募
11	滝本 正雄	公募
12	松屋 有信	老人保健施設神恵内ハイツ 998
13	宮下 美津	川白地区
14	村田 由紀子	古宇郡漁業協同組合
15	<small>やまおうまる</small> 山王丸 千佳子	神恵内村 PTA 連合会
16	山森 昂	古宇郡漁業協同組合

他2名

以上